



避難所運営ゲーム (HUG) 北海道版～Doはぐ～

くねつ未来づくり大会の一環として、講師で、日本赤十字北海道看護大学の根本昌宏教授を招いて、「避難所運営ゲーム(HUG)北海道版Doはぐ」が昨年12月4日に行われました。

「HUG」とは、災害で起こるあらゆることを想定して、避難所運営を図上で訓練するものです。参加した町民30人は、内陸直下型の巨大地震が発生し、気温は氷点下2度、50cm以上の積雪がある中、電気やガス、水道が使えないと想定し、最適な避難所の運営方法について、話し合いました。

参加者からは「体調の悪い人はどこに配置したら良いか」「シートと一緒に来た人の対応をどうするか」などの意見が交わされ、災害への対応を学ぶ良い機会となりました。

わくわく園とひだまりでクリスマス会



わくわく園

ひだまり



昨年12月21日にひだまり、22日にわくわく園でクリスマス会が行われました。

ひだまりでは、北見市などで活動している「あのね」さんによる絵本の読み聞かせのほか、サンドイッチやポチャのポタージュなどを親子で食べました。わくわく園には、サンタさんがやって来て、園児一人一人ハブレゼントが贈られました。また、5歳児はクッキー作りをするなど、それぞれクリスマス会を楽しんでいました。

きたみらい地域の酪農家の子どもたちで構成された「きたみらいジュニアホルスタインクラブ」のクリスマス作り実習が、昨年12月17日に訓子府管農センターで行われました。

この日は、酪農家の奥さん方で構成される「モーモークラブ農酪っ娘」の会員が講師となり、訓子府と上常呂の子どもたち10人が、チーズ作りを体験しました。

子どもたちは、チーズを伸ばしたり、丸めたりしながら、おいしいチーズ作りを楽しみました。



きたみらいジュニアホルスタインクラブクリスマス作り



居武士小学校 開校1世紀を祝う

居武士小学校の開校100周年記念式典が、昨年11月26日に居小体育館で挙行され、児童や卒業生など約2000人が100年の節目を祝いました。

式典では、記念事業協賛会の古沢栄一会長(式辞)や中村厚志校長らのあいさつ、歴代校長3人や歴代後援会会長8人、鶴岡野養蜂場、居武士スポーツスクエア少年団指導者5人、訓子府石灰工業㈱に感謝状贈呈があり、全校生徒の合唱で、開校2世紀に向かい、発展を誓いました。

式典後は、記念碑の除幕式が行われ、開校100年の記念碑が披露されました。

また、祝賀会では、児童や卒業生は昔話や思い出を語りながら、記念すべき日を過ごしました。

約2000人出席し記念式典



11月26日に野菜&雑貨フエス in 訓子府を開催



4Hまつり同時開催

手作り雑貨や野菜を集めた一日限りの「野菜&雑貨フエス in 訓子府」が昨年11月26日に開催されました。

布の小物やバッチワーク、ハープ雑貨をはじめ、ミルククラウンや夢ミール、喫茶たんぼほ、水留農場の野菜など、たくさんのお店が並び、会場はにぎわいました。

また、当日は町内の農業青年団体である訓子府町4Hクラブの「4Hまつり」も同時開催され、ジャイモやタマネギ、ニンジンなどが販売され、行列ができるほどの人気でした。

わくわく園「よいしょ、よいしょ」もちつき楽しいな



わくわく園で、もちつきが昨年12月1日に行われました。

父母や商工会青年部などが、お手本を見せてから園児が挑戦し、小さな杵(きね)を持って「へったん、へったん」と元気よくもちをつきました。見ていたほかの子どもたちからは「よいしょ、よいしょ」「がんばれっ」などと声援が飛んでいました。

できあがったもちば、きなこもちや雑煮などにし、子どもたちは「おいしい」といながら食べていました。